

平成28年 7月 1日

智頭町議会

議長 酒本 敏興 様

智頭町議会議員 大 藤 克 紀

// 岩 本 富美男

// 中 野 ゆかり

// 岸 本 眞一郎

// 酒 本 敏 興

### 議 員 派 遣 結 果 報 告 書

平成28年3月22日に決定された議員派遣について、下記のとおり報告します。

#### 記

- 1 派遣名 議会報告会
- 2 目的 智頭町議会基本条例第5条の規定に基づく議会報告会
- 3 派遣場所及び期間
  - (1) 智頭町福原 19 番地 「山郷地区公民館」 平成28年5月18日
  - (2) 智頭町智頭 2076 番地 2 「智頭町総合センター」 平成28年5月19日
  - (3) 智頭町郷原 259 番地 「山形第一地区公民館」 平成28年5月20日
- 4 概要 別紙1～3のとおり

平成28年度 議会報告会結果概要（山郷地区）

- 1 日 時 平成28年5月18日（水）19：00～21：00
- 2 出席議員 大藤、岩本、中野、岸本、酒本 5人
- 3 参加者数 5人（男5人、女0人）
- 4 概 要 「議会報告会資料」の説明後に意見交換

（1）質疑応答

問 行政評価システムについて

- ・全部の事業を評価するのか。

答 議会が政策提言をした内容からピックアップし、評価している。行政評価を行っている他の自治体は行政自体が全事業を評価している。

問 議会の政策提言内容と行政評価内容などの公表について

- ・「議会だより」で公表しているのか。

答 公表している。一人一人の評価は格差がある。それをとりまとめた委員会の評価には課題がある。また、評価と決算と連動していかないといけないと思っている。

問 テクノパークについて

- ・若者定住住宅の募集はいつからか。
- ・今後も住宅を建てるのか。

答 広報ちづに掲載されているが、5月9日から6月17日が申請期間で、6月中旬に内覧会が行われる予定。  
今年度あと2棟建てる。今後も建てていく。

問 まちづくり支援事業の5000万円について

- ・百人委員会などに比べ大きい金額だが、どういう内容のものか。

答 MINTO機構の町づくりファンドを活用し、住民主体の町づくり事業。お金は公募により選定し、助成か出資で支援する。

問 防災マップについて

- ・全家庭に配られたが、鳥大の学生の耐震度測定もマップに反映しているのか。どういうものが基準に作られたか。

答 鳥大の耐震度測定はこの度作成したマップには反映していない。その他、避難場所の指定が従来どおりでいいのか、安全な避難場所を作るべきでは、と議会は執行部に意見を言ったが、「行政が安全な避難場所は作れない」ということで、現在ある土砂災害の情報をもとに作成するという事だった。

（2）要望・提案

智頭病院について

- ・病院がなくなったら、人口減少の加速が進む。医者を確保し、病院継続ができるよう全力でがんばってほしい。

#### 移住定住の希望者について

- ・大半が森のようちえんまるたんぼうとサドベリーと聞く。そういう中、町としての方針が必要ではないか。

#### サドベリースクールについて

- ・関係者に直接言ったが、基本的な基礎教育を教えずに他のことをしてはだめだと思う。

#### 森のようちえんについて

- ・本当に良かったら、智頭町民がもっと行ってもいいのではと思う。町立の保育園に森で育てる要素を入れてはどうか。

#### 森のようちえん、サドベリースクールについて

- ・町の位置づけはどうなっているのか。「教育は人間を育てる」とても重要と思うが、予算として少ないのではと思う。

#### 新田のいずみ生協との交流について

- ・小さいとき新田に来てくれた子供が大人になり、子供をつれて来てくれたことがあった。智頭が良かったら、また来てくれる。小さい時の感性は大切である。長い目で見ると、そういうことに力を入れることも必要と思う。

#### 体育館使用について

- ・体協に加盟している人から、中学校の体育館を使用しにくいと聞く。(キズをつけたらいけないとか、気をつかう。)
- ・旧町民体育館が業者に使われていないのに、体育用に使えないという不満が未だにある。

#### 陳情書について

- ・採択した場合、その後できたかどうか執行部に尋ねてほしい。そしてできていなかったら、できるまで応援してほしい。

#### 役場の人材交流について

- ・八頭郡3町の役場の人材交流はないのか。同じ課の場合、1ヶ月間だけでもよその仕事を体験することにより、その仕事のやり方などわかり勉強になるのでは。

## 別紙2

### 平成28年度 議会報告会結果概要（智頭地区）

- 1 日 時 平成28年5月19日（木）19：00～21：00
- 2 出席議員 大藤、岩本、中野、岸本、酒本 5人
- 3 参加者数 6人（男4人、女2人）
- 4 概 要 「議会報告会資料」の説明後に意見交換

#### （1）質疑応答

##### 問 情報公開について

- ・平成23年から始まった議会報告会に関して（ホームページで）公開されていない。
- ・保育園建設に関して、上市場には4回説明会があったようだが、中町には説明会がない。
- ・情報公開、オープンガバメント（インターネットを活用して開かれた政府・行政機関）についてどう考えているか。

答 ホームページや情報公開に関しての管理は企画、総務課が行っている。

##### 問 議事録について

- ・中身が検索できない。町民に議会を知ってもらおうとしているか。

答 テープ起こしなど議会事務局の日常の業務がたくさんあり、体制強化を要望している。

##### 問 智頭テクノパークの移住対策住宅について

- ・土地約80坪の家が建つとのことだが、いつから住めるようになるのか。
- ・20年間住むことが条件だが、いつの時点で土地を無償譲渡するのか。
- ・入居が決まった後、敷地内に何か建てたいとか、改築したいとなるとそれは可能なのか。

答 8月1日入居予定である。広報ちづ5月号に詳しく掲載されている。  
20年後に無償譲渡される。勝手に増改築はできない。

##### 問 図書館について

- ・建設するのかわからないのか。誰でもわかるように公表してほしい。

答 検討委員会により検討されている。

##### 問 議会の視察について

- ・年何回と決まっているのか。必ず泊まりがけでないといけないのか。

答 （委員会ごとに1回）行うことを前提で予算を組んでいる。  
泊まりがけの視察ばかりではない。日帰りの場合もある。

##### 問 住宅改修の選定について

- ・応募したが落ちた。選定方法は、くじ引きか、それとも審査か。

答 基本的に抽選である。

## (2) 要望・提案

### 仮設住宅の建設場所について

- ・先月熊本大震災があった。どこの町村も仮設住宅を建てる場所を決めている。智頭町はどのように考えているのか。仮設住宅候補地や避難場所も含めて、明確にした方がいい。

### 保育園建設について

- ・誰がどのように審議され、どうなっているのかという過程が公開されていない。ICT（情報通信技術）の活用が急がれるのでは。
- ・保育園建設に関して、中町周辺には説明会がない。保育園が廃園になるということを黙って見守ってきた。ある時、ふっとなくなる。中町に対しての説明が必要では。

### 議会ホームページの予定カレンダーについて

- ・事前予定表ではなく、行事が終わってからの実績表である。せめて1ヶ月間のスケジュールの掲載は必要ではないか。

### 情報公開について

- ・情報は公表し、2次使用できるような開示をお願いしたい。
- ・黒本谷古墳の試掘調査もいつからいつまでしたのかなど全くわからない。
- ・塩屋出店も何に使われているか。町の税金が使われている施設である。何に使われているか、また、どこが指定管理かわかるようにしてほしい。

### AED（自助体外式徐細動器）の場所などについて

- ・災害時、AEDのある場所などデジタル化も含め考えてほしい。オープンガバメント（インターネットを活用して開かれた政府・行政機関）、パブリックコメント（意見公募手続き）がなっていない。

### 町有地の無償譲渡について

- ・自由に建てるという方向にしてもらえればいいのにとと思う。
- ・土地の譲渡がないと、銀行が貸してくれない。また、10年間は売れないとしたらいいのでは。
- ・早く町有地を譲渡することにより、町産材の活用になる。

### 議会の視察について

- ・全国の町づくりの取り組みはインターネットを検索すると分かる。
- ・行く前に下調べをして、その後、詳しい報告とそれを智頭町にどう活かすか報告してほしい。
- ・硬直的ではなく、柔軟な対応をしてもいいのでは。

### 危険な住宅について

- ・条例を作るのか作らないのか。危険家屋は優先的にしてほしい。

### 住宅改修事業について

- ・抽選は、透明性のある抽選にしてほしい。予算を増やしてほしい。

平成28年度 議会報告会結果概要（山形地区）

- 1 日 時 平成28年5月20日（金）19：00～21：00
- 2 出席議員 大藤、岩本、中野、岸本、酒本 5人
- 3 参加者数 6人（男6人、女0人）
- 4 概 要 「議会報告会資料」の説明後に意見交換

(1) 質疑応答

問 行政評価について

- ・現在やっている事業を評価するのか。
- ・事業を評価していく方が、マンネリ化を防ぐことができる。ゼロからスタートする方がいいのでは。

答 決算の前に行政評価を行い、次年度に反映させるのが大きな目的。過去の事業を今年度活かす。議会が政策提言をした中から評価事業を決めた。大きな事業だけで、1860事業ある。なかなか全事業という訳にはいかない。

議員の意見が分かれた。どの事業を評価するのか、今後考えていかないといけない。

問 林業の就業支援補助金について

- ・県もあるのか。鳥取の企業から智頭に来ても新規になるのか。

答 月5万円、年間60万円の支援制度がある。  
本来は初めて林業をする人が対象。

問 おせっかいのまちづくり事業予算について

- ・どんな内容か。

答 のぼり作成やPRの経費。

問 健康ポイントについて

- ・どんな内容か

答 健康診断や健康講座への参加でポイントがたまる。ためたポイントは杉小判に交換できる。詳しくは広報ちづ5月号の8ページに掲載されている。

問 恋山形駅のトイレについて

- ・昨年陳情し、採択となった。その後どうなったか。

答 企画課の担当者から山形地区の議員3人に説明があった。「水」の確保の件で現在検討中と聞いている。

問 居場所づくり事業について

- ・今後どのように展開するのか。

答 山形地区で行われている「森のミニディ」のようなものを、各地区に作っていかうとしている。しかし、民間の受け皿づくりがなかなかできない。せめて町内に3カ所作っていききたいと検討している。また、ミニディの複数回増やしていくのも検討中。

問 森のようちえんへの支援について

- ・今年度から県から支援してもらおうと町長が言われていたが、予算がついている。どういふことか。

答 今まで県から町を経由して森のようちえんに支払ってきた補助金が、今年度から県が直接団体に支払うようになった。そのため、今までも行ってきた町の支援分を予算にあげている。

(2) 要望・提案

自伐型林業について

- ・受講者は、町外・県外の方が多い。学んだだけで帰られるのではなく、移住定住につなげるための優遇策が必要ではないか。
- ・生活費を稼ぐには、森林組合や株式会社サングリーンに就職し、一人前になるまで修行を積んだ後、町有林を貸し与えるのが望ましいのではないか。

健康ポイントについて

- ・敬老会に5、6割が来てくれる。健康な人ほど医療費が少なくてすむため、「健康でよかったね」というポイントがあったらいいのではないか。

地域包括ケアシステムについて

- ・山形地区は、東京の役人さんから先進地として評価された。大きいことはなかなかできない。1人からでも小さいことから始められることが重要と思う。

居場所づくりについて

- ・送迎を民間と組んではどうかと思う。

森のようちえん、サドベリースクールについて

- ・きらいではない。保育の選択肢が増えるのはいい。
- ・しかし、ようちえんでとめておいて欲しかった。サドベリーは土・日だけなら大賛成だが、平日型は賛成できない。